

林市長 年頭の訓示（令和2年1月6日）

あけましておめでとうございます。令和2年もよろしく申し上げます。

昨年から異常な少雪で、スキー場の歴史の中でもあまり例がない出来事だと思います。行政としては、少雪対策を検討しなければならないと考えています。

年末年始は子どもたちのがんばる姿を見る機会がたくさんありました。

令和元年12月25日（水曜日）から、韓国へ交流に行っていた市内の中学生が28日（土曜日）に元気に帰ってきました。一部報告を聞いたところ、韓国のみなさんからすばらしい歓迎を受けたとのことでした。子どもたちの交流に関して、日本と韓国が強い思いをもって臨んでいるのだと感じました。無事に帰国して本当に安心しました。

1月5日（日曜日）には、南魚沼市剣道連盟の新春初稽古に初めて行きました。寒い中でしたが、子どもたちが元気な声で稽古に臨み、がんばる姿を見てとてもうれしく思いました。

全国高校サッカー選手権大会では、帝京長岡高校がベスト4に進出しました。南魚沼市出身の選手を含め県内の子どもたちが、全国の大舞台で活躍する姿に私も力をもらいました。

令和2年は、私の市長任期の最後の年です。さらに強い思いをもって務めていきます。現在2つの大きな課題があります。1つは医療のこと、もう1つはごみ処理場のことです。これらは、なかなか前進が難しいですが、必ず方向性を出したいと考えています。

「足下を掘れ、そこに泉あり」という言葉があります。自分の身の回りを注意深くじっくり観察すると、普段見落としていた価値のあるものが実は近くにあるという意味です。昨日よいと決めたことが、明日もよいとは限りません。よりよくするためにはどうすべきか常に考え、工夫を忘れずに1年間がんばります。よろしく申し上げます。